

冬の楽しさがあふれました

第24回雪だるま・雪像コンテスト

2月7日、第24回となった「雪だるま・雪像コンテスト」が開催されました。今年も前日、前々日と風の強い日が続き、雪だるまや雪像づくりに苦労されたようです。町内のたくさんの方々に参加していただき、たくさんの雪だるま・雪像があらわれ、七ヶ宿の冬ならではの風景をつくりあげました。ユーモアあふれる63箇所、128個の雪だるま・雪像が七ヶ宿を訪れるたくさんの人々を歓迎しました。



▼神尾文美さん (峠田)



雪だるま

▼古川芳明さん (関)
「今年は固まらないし、吹雪だし、たいへんでした。」



▼神尾与一郎さん (峠田)
「天気も、気温もむずかしい年だった。毎年つくっているが、まだ満足できる仕上がりになりません。」



▼渡部雄大さん (関)



雪像

▼金子昭二さん (湯原)
「今年のはつくるのに4日かかりました。」



▼松木公司さん (湯原)
優秀賞



▲松本 護さん (峠田)



▲高橋龍郎さん (湯原)
「かけ軸の絵をモデルにしました。」

「審査翌日も手直しする金子さん」



散歩しながら受賞作の見学『今日は散歩するのが楽しみ。』
「みんなど遠くまで行くか!」



▲湯原小学校 2年連続



▲旬の市七ヶ宿

地域づくり

地域のみなで、力をあわせて雪像づくり

瀬見原・矢立地区地域づくり委員会が地域住民へ呼びかけ30名が集結、地域のコミュニティ向上と、子育て支援の一環として雪だるま・雪像コンテストに参加しました。

当日は雪の降る中、じいちゃんから子どもまで力をあわせて雪像づくり関保育所の運動場に「ゾウのすべり台」が完成しました。お昼はみんなで高齢者センターへ移動、温かいうーめんて暖まりました。

日曜日の審査では団体の部奨励賞を受賞、翌月曜日には登園した園児も大喜び、雪遊びの時間にはそりすべりで大はしゃぎしました。子ども達から「来年もつくってね!」とリクエストが出ていました。

奨励賞



地区地域づくり委員会
▶瀬見原・矢立



関保育所をい遊び、みんなたのびるさび!



完成した雪像の前でみんな記念撮影



暖かいうーめんて昼食、懇親がふがまいました